### 説 明書

令和 年 月 日

桜川市長 大塚 秀喜 様

住 所

氏 名

ED

電話番号

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年法律第104号)第12条第1項の規定により、 対象建設工事の分別解体等の計画等について下記のとおり説明します。

記

- 1 工事の名称
- 2 工事の場所
- 3 説明内容 添付資料のとおり
- 4 添付資料
  - (1) 特定建設資材に係る分別解体等に関する省令(平成14年国土交通省令第17号)別記様式第1号別表1から別表3までのうち該当するものに必要事項を記載したもの
  - (2) 工程の概要を示す資料
  - 注 工程の概要を示す資料は、できるだけ図面、表等を使用して作成すること。

### 分別解体等の計画等

建築物の構造			大骨鉄筋コンクリート造 コンクリートブロック造		リート造 )	
建築物に関する調査の結果			築年数年、棟 その他(		)	
		国知此知	周辺にある施設 □住宅 □商業施設 □学校 □病院 □その他( ) 敷地境界との最短距離 約m その他( )			
			建築物に関する調査の	結果	工事着手前に実施する措置の内容	
建築物に関する調査の結果及び		作業場所	作業場所 □十分 □不十分 その他( )			
		搬出経路	障害物 □有( 前面道路の幅員 約_ 通学路 □有 □無 その他(	)□無 m )		
上事 施す	着手前に実 る措置の内	残存物品	□有 ( □無	)		
		特定建設資材 への付着物	□有 ( □無	)		
		その他				
工	工程		作業内容		分別解体等の方法	
1程ごとの作業内容及び	①建築設備・内装材等		建築設備・内装材等の取り外し □有 □無		□手作業 □手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由 ( )	
	②屋根ふき材		屋根ふき材の取り外し □有 □無		□手作業 □手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由 ( )	
容及び	③外装材·上部構造部分		外装材・上部構造部分の取り壊し □有 □無		□手作業 □手作業・機械作業の併用	
6解体方法	④基礎・基礎ぐい		基礎・基礎ぐいの取り壊し □有 □無		□手作業 □手作業・機械作業の併用	
方法	⑤その他 ( )		その他の取り壊し □有 □無		□手作業 □手作業・機械作業の併用	
	工事の工程	星の順序	<ul><li>□上の工程における①</li><li>□その他(</li><li>その他の場合の理由(</li></ul>		の順序 ) )	
□内装材に木材が含まれる場合			①の工程における木材の分別に支障となる建設資材の事前の取り外し □可 □不可 不可の場合の理由( )			
建築物に用いられた建設資 の量の見込み			トン			
l <b>≱</b> &			種類	量の見込み		
廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の 類ごとの量の見込み及		□コンクリート塊			
		見込まれる建	□アスファルト・コンクリート塊			
			□建設発生木材		トン □① □② □③ □④ □⑤	
	(注)①建築設備・内装材等		②屋根ふき材 ③外装	材・上部構造部	分 ④基礎・基礎ぐい ⑤その他	
備考						

# 建築物に係る新築工事等(新築・増築・修繕・模様替) 分別解体等の計画等

	する特定建 材の種類	□コンクリート □コンクリート及び鉄から成る建設資材 □アスファルト・コンクリート □木材					
		建築物の状況	築年数年、 その他(	棟数	東	· ·	
建築物に関する 調査の結果		周辺状況		住宅 □商業が 病院 □その化 雛 約	<u>h</u> (	·交	)
			建築物に関する調査	の結果	工事着手前	<b>「に実施する指</b>	計置の内容
		作業場所	作業場所 □十分 その他(	□不十分 )			
調査 工事	物に関する の結果及び 着手前に実 る措置の内		障害物 □有( 前面道路の幅員 約 通学路 □有 □無 その他(	)□無 m )			
容		特定建設資材 への付着物 (修 繕・模様替工事 のみ)	山作   <i>(</i>	)			
		その他		46.000			
		工程	作業内容				
	①造成等		造成等の工事 □有 □無				
工程	②基礎・基礎ぐい		基礎・基礎ぐいの工事 □有 □無				
ことのよ	③上部構造部分・外装		上部構造部分・外装の工事 □有 □無				
工程ごとの作業内容	④屋根		屋根の工事 □有 □無				
容	⑤建築設備・内装等		建築設備・内装等の工事 □有 □無				
	⑥その他 (  )		その他の工事 □有 □無				
廃	特定建設資材廃棄物の種類 ごとの量の見込み並びに特 定建設資材が使用される建		種類	量の見込み	4	が見込まれる 5用する部分	(注)
棄物系			ロコングリート塊		トン □①		
棄物発生見込量	材廃棄物の		□アスファルト・コンクリート塊		トンロ⑤		
	る建築物の		□建設発生木材		トン □①		
			:部構造部分・外装 ④	屋根 ⑤建築設	備・内装等	⑥その他	
備考							

□欄には、該当個所に「レ」を付すること。

## 建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等) 分別解体等の計画等

工作物の構造 (解体工事のみ)			□鉄筋コンクリート造 □その他( )				
工事の種類			□新築工事 □維持・修繕工事 □解体工事 □電気 □水道 □ガス □下水道 □鉄道 □電話				
使用する特定建設資材の種類 (新築・維持・修繕工事のみ)			□その他( □コンクリート □コンクリート及び鉄から成る建設資材 □アスファルト・コンクリート □木材				
工作物の出温			<ul><li>(エリング ) アルド・コング リード</li></ul>				
工作物に関する調査の結果		周辺状況	周辺にある施設 □住宅 □商業施設 □学校 □病院 □その他 ( ) 敷地境界との最短距離 約m その他 ( )				
			工作物に関する調査	の結果	工事着手前に実施する措施	置の内容	
		作業場所	作業場所 □十分 その他(	□不十分			
工作物に関する 調査の結果及び 工事着手前に実 施する措置の内			障害物 □有( 前面道路の幅員 約 通学路 □有 □無 その他(				
容		特定建設資材へ の付着物 (解体・ 維持・修繕工事の み)	□有 ( □無	)			
		その他					
工	工程		作業内	7容	分別解体等の方	法	
程ご	①仮設		仮設工事 □有 □無		□手作業 □手作業・機械作業の	併用	
とのた	②土工		土工事 □有 □無		□手作業 □手作業・機械作業の	 )併用	
業内	③基礎		基礎工事 □有 □無		□手作業 □手作業・機械作業の	 )併用	
程ごとの作業内容及び解体	④本体構造		本体構造の工事 □有 □無		□手作業 □手作業・機械作業の	)併用	
解体	⑤本体付属品		本体付属品の工事 □有 □無		□手作業 □手作業・機械作業の	)併用	
方法	<ul><li>⑥その他</li><li>( )</li></ul>		その他の工事 □有 □無		□手作業 □手作業・機械作業の		
工事の工程の順序 (解体工事のみ)			□上の工程における⑤→④→③の順序 □その他( その他の場合の理由(			)	
建築物に用いられた建設資材の 量の見込み (解体工事のみ)			トン				
廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み(全工事)並びに特定建設資材が使用される工作物の部分(新築・維持・修繕工事のみ)及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分(維持・修繕・解体工事のみ)		種類	量の見込み	世界の日本の日本		
			□コンクリート塊				
			□アスファルト・コンクリート塊				
			□建設発生木材				
<u></u>	(注)①仮設 ②土工 ③基礎		<b>基 ④本体構造 ⑤本体</b>	付属品 ⑥その	他		
備考							

□欄には、該当個所に「レ」を付すること。